

9. 目標値の設定及び計画の評価

9-1 目標値の設定

(1) 立地適正化計画の目標値

本計画に掲げる施策・誘導方針に期待される効果として、「①公共交通の利便性向上」、「②市街地における居住者の確保」が想定され、本計画の進捗を管理するための目標値を以下のように設定していましたが、今回の見直しにおいて、居住誘導区域が変更（策定当初：222.3ha⇒163.4ha）になったこと、また、計画策定以降の居住誘導区域内人口の推移を考慮し、人口密度の目標値を見直しました。人口に関する目標値の算出方法については、後述の参考資料に記載しています。

公共交通に関する目標値については、“1便あたり乗客数の増加率”としていましたが、“のらんけバス”が令和6年7月に運行終了となったこと、また、令和7年6月に改訂された「輪島市地域公共交通計画」との整合を図ることとし、目標値を見直しました。

【策定当初の目標値（居住誘導区域面積：222.3ha）】

項目	単位	基準値	目標値
		2015年 (平成27年)	2035年 (令和17年)
居住誘導区域内の人口密度	人/ha	35.1	22.7
公共交通の1便あたり乗客数の増加率	%	—	5.0



【目標値の見直し（居住誘導区域面積：163.4ha）】

項目	単位	基準値	現状値	目標値
		2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	2035年※ (令和17年)
居住誘導区域内の人口密度	人/ha	43.4	39.9	28.6
公共交通の利用者数 ①のらんけ+(プラス) ②おでかけバス ③愛のりバス	人/年	—	①5,643(R6.8~R7.3) ②3,844(R3) ③11,958(R3)	①8,460(R15) ②4,540(R15) ③11,960(R15)

※“公共交通の利用者数”の目標値は、「輪島市地域公共交通計画」と整合を図り、2033年（令和15年）時点の数値

(2) 防災指針の目標値

P84～86 で示した課題解決に向けた防災・減災対策の具体的な取組を踏まえ、防災指針における目標値を以下のとおり設定します。

なお、指標と目標値は、輪島市国土強靱化地域計画及び第2次輪島市総合計画（後期基本計画）との整合を図り設定します。

表. 防災指針に基づく目標値

指 標	現状値 (R4)	目標値 (R8)
津波避難ビルの指定施設数	8施設	現状維持
指定避難所の指定施設数	48施設	維持
消防団員の充足率	90%	95%
防災士の育成※	865人	950人
女性防災士の育成※	203人	250人

※立地適正化計画独自の目標値

本計画の評価に当たっては、概ね5年ごとにモニタリングを実施して直接進捗状況を確認するとともに、計画の評価等を実施します。また、輪島市都市計画審議会にも評価結果を報告し、意見聴取を行い、評価結果を踏まえて必要に応じ計画の見直しを行います。

なお、各施策については、PDCAサイクルの考え方に基づき、時代の潮流や様々な状況変化に対応しながら、長期的な計画の運用・管理を行います。

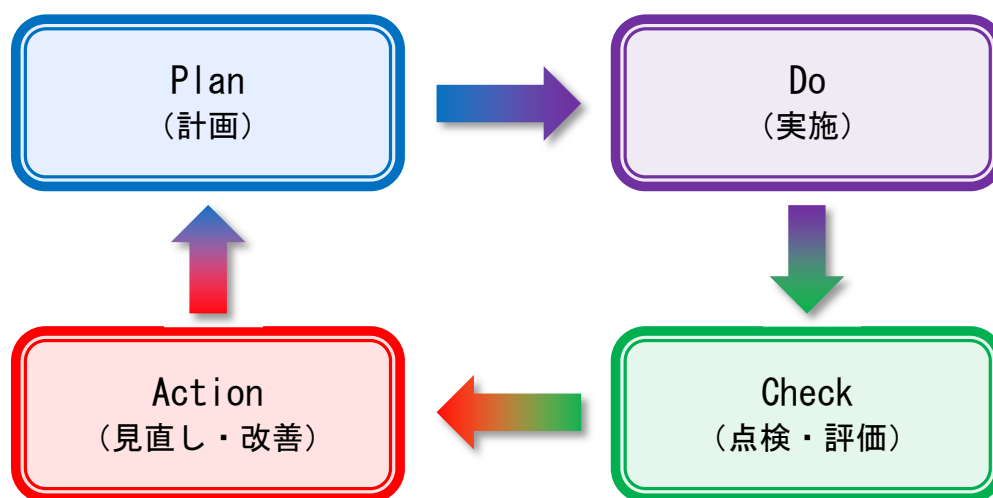


図. PDCAサイクルの考え方